

令和4年度 コミュニティから「市政へのご提言」

栗熊 コミュニティ

<p>提言項目①</p>	<p>行政主導で農振解除を</p>
<p>提言理由・内容</p>	<p>栗熊コミュニティではまちの魅力発信に努めてまいりましたが著しい少子高齢化人口減少に歯止めがかかりません。 栗熊地区は、丸亀市内でも特に少子高齢化が進んでいます。特に少子化の方が心配で、若い人口が増えないのが原因です。 担い手のいない農地や遊休地を中心にある程度まとまった土地を農振解除出来るよう行政から積極的に指導していただきたい。 そうすれば宅地開発業者も強い関心を持つと思います。</p>
<p>回 答</p>	<p>農地は、豪雨などによる非常時に雨水を貯留し、急激な河川の増水を和らげ、水害を未然に防ぐ役割を果たします。農道や水路、基盤整備事業など、農地を保全するための土地改良事業は、農業振興地域整備計画内の農地に対し、補助事業を行うことができます。</p> <p>農業振興地域整備計画は、土地利用を明確化し、優良農地の確保とその保全の必要性から策定しており、無秩序な開発を未然に防ぐ役割を果たしており、法律に基づき市が作成しております。しかし、農振除外については、法律や県のガイドライン等に基づく除外要件の判断がまず必要で、市が申出を受付けた一箇所毎に県に協議をかけ、最終的には県の同意が必要でありますことから、市単独の権限で除外を行える訳ではありません。</p> <p>また、当栗熊地区は、基盤整備率が高く、集落営農に取り組む法人や米麦を中心に、露地野菜など大規模な栽培を行っておられる認定農業者、さらには若い就農者も定着していることから、農業に非常に熱心で理解のある地域であると認識しております。</p> <p>一方で御提言のとおり、少子高齢化、人口減少に歯止めを掛けるためには、一定の都市開発も必要であると考えます。</p> <p>そこで、本市といたしましては、これらの地域課題と特性に合わせ、農振除外に係る法律や県のガイドラインとの整合性、また都市開発と農地及び農業環境保全の均衡が保てるよう慎重に考慮し、農業振興施策を図って参りたいと考えておりますので、今後とも御理解、御協力をお願いいたします。</p>
<p>提言項目②</p>	<p>栗熊小学校区近隣に大規模公園を</p>

<p>提言理由・内容</p>	<p>住民の願いとして、老若男女が憩える大規模公園を栗熊地区に設置してほしい。</p> <p>候補地として①快天山古墳入り口付近②栗熊東地区砂子の遊休農地を提案します。</p> <p>或いは、③綾歌町岡田東の鴻池公園を東西に拡張して現在の2～3倍の面積にする。</p>
<p>回答</p>	<p>市では、「身近な公園の整備方針」を定めて、市全体でバランスの取れた公園配置とすることを目標に、計画的に公園整備を行うこととしております。</p> <p>事業化にあたっては、諸条件の整った地域から進めていくこととなりますので、今回、ご提案の候補地の件も含めてコミュニティを中心に地域で話し合っ、別添「公園整備の考え方」の条件に合うようなら、1度、都市計画課にご相談いただければと思います。</p>
<p>提言項目③</p>	<p>栗熊保育所民営化方針について</p>
<p>提言理由・内容</p>	<p>突然の民営化の話でビックリしています。</p> <p>民営化で一番心配なのは、保育サービスの低下です。</p> <p>民営化になり最初の数年は、丸亀市幼保運営課の指導の元保育所を運営すると思いますが、5年10年経過したら利益優先になり、保育サービスの低下の心配があります。</p> <p>民営化すると利益を出すためにまず人件費カット、設備費カットを定石で行う必要が出てくるのが懸念されます。</p>

<p>回答</p>	<p>教育保育施設の施設管理計画はこども未来計画で示していますが、かねてからの市の課題であった綾歌地区での延長保育・土曜保育・0歳児保育等の特別保育を少しでも早く充実させるために、栗熊保育所の耐用年数が令和6年度と施設の老朽化により検討が必要であることから、令和4年度が計画の中間見直しの年でありますので、栗熊保育所の民営化を検討いたしました。</p> <p>保育実施に当たっては、公立・私立に関わらず、国が定める「保育所保育指針」に基づき行われていますので、保育士の配置基準や保育内容は同じものとなり、民営化となった場合におきましても、公立と同様の保育を受けることができます。また、私立園に対しては、人件費等の運営費の補助を行っており、安定的な保育運営をしていただけるよう支援しています。</p> <p>また、これまでの保護者や地域等の関わりを継続してもらうように、引継ぎ後においても情報を共有し、課題が発生した場合には、保育の質の低下につながらないように市が調整に入り、指導・助言を行っていきます。</p> <p>今後も子育て環境の充実を図ってまいりますので、幼児教育・保育行政にご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。</p>
<p>提言項目④</p>	<p>「アイレックス」の今後の利用方針について</p>
<p>提言理由・内容</p>	<p>令和7年に新しい市民会館（仮称：みんなの劇場）が完成予定です。それに伴いアイレックスの利用頻度も減少すると思われます。</p> <p>現在の「アイレックス」の広い駐車場や、アクセスのよい国道沿いにあるという利点を生かしつつ、老朽化した設備（特にトイレ）のリフォームや、特色をだした企画を考えて丸亀市の南部の文化的活動の拠点として欲しい。</p>
<p>回答</p>	<p>アイレックスは国道32号の沿線に位置し、500台超の駐車場が整備されていることや、高松琴平電気鉄道の栗熊駅から徒歩圏内ということもあり、綾歌町、飯山町地域の方のみならず、高松市や綾川町、まんのう町や琴平町等、幅広い地域の方にご利用いただいております。</p> <p>新市民会館の開館後につきましても、新市民会館で行う事業と連携しながら、立地条件や地域に根付いた文化などをしっかりと活かし、市域南部の文化芸術活動の拠点として幅広い分野の事業を行っていく予定です。</p> <p>そうしたことから、施設の大規模改修等も必要となってきますが、大規模改修を行うと休館せざるを得なくなり、市内に利用できる公共文化ホールがなくなりますことから、大規模な改修や修繕等は新市民会館の開館後に行うことを計画しております。</p>